

令和4年度 かほく市創生総合戦略 推進計画事業に係る外部評価委員会会議録

令和4年9月5日（月）14:00～
かほく市役所 2階 議会会議室

○出席委員

学識者 石川県立看護大学 教授 濱 耕子
 商工団体 かほく市商工会 会長 南 春夫
 市民代表 かほく市町会区長会連合会 会長 西田 省三
 女性団体 かほく市女性協議会 会長 松村 千恵
 農業団体 石川かほく農業協同組合 代表理事専務 村井 一宏
 金融機関 株式会社北國銀行 公務部公務グループ長 宗田 楠興（代理）
 労働団体 PFU労働組合 執行委員長 富永 慎弥

○事務局

虎谷総務部長、庭田企画振興課長（欠）、荒井補佐、谷口主事

開会	
委員長挨拶	石川県立看護大学 教授 濱 耕子 ～濱委員長による議事進行～
議事①	①令和3年度第2期かほく市創生総合戦略推進計画事業成果について 資料1及び別紙資料①、②に基づき事務局より説明を行った。 目標の達成度を測る対象事業は34事業あり、そのうち目標値を達成できた事業（達成度100%以上）は20事業。目標値を概ね達成できた事業（達成度80%以上）が3事業。目標値を達成できなかった事業が11事業であった。 結果、令和3年度における目標値の達成割合は68%ということで、概ね3分の2が達成となった。 なお、1事業については今年度評価対象外とした。
委員からの 質問・意見	<委員> 事業個票 NO.1 の⑧当該事業目標 KPI 及び実績において、令和2、3年度の予算の事業費が0となっているがなぜか。

事務局からの 回答	<p><事務局></p> <p>予算の事業費欄には該当年度の当初予算が記載されており、工場等立地助成金においては、工場が完成した際に申請をしてもらい、金額が確定後に、その都度補正予算を計上しているため、当初予算の事業費欄は0円となっている。</p>
委員からの 質問・意見	<p><委員></p> <p>事業個票 NO.13 のシティプロモーションとはどういったものか。</p>
事務局からの 回答	<p><事務局></p> <p>かほく市内外に向けて市の情報を発信し、かほく市をPRする活動。</p>
議事②	<p>②令和3年度末かほく市人口ビジョンの状況について別紙資料②～⑥に基づき事務局より説明を行った。</p>
委員からの 質問・意見	<p><委員></p> <p>人口の推移から施策の成果が見受けられる。 引き続き、各種事業の取り組みに尽力して頂きたい。</p>
委員からの 質問・意見	<p><委員></p> <p>「学生U I Jターン就職奨励金制度」はどのようになくなったのか。</p>
委員からの 質問・意見	<p><事務局></p> <p>奨励金利用者にかほく市に戻ってきた理由を、アンケートにて聞き取りしたところ、「実家があるから」との意見が大部分であり、当該奨励金がU I Jターンを促進しているとは考えにくいこともあり、「若者マイホーム取得奨励金」にU I Jターン者を対象とした加算額を設けていること、また、「U I Jターン住まい補助金」を新設したことなどから廃止した。</p> <p>なお、奨学金を借りて大学に進学し、かほく市内に本社を有する会社に就職した方に対して、奨学金の一部を返還する制度についても、今年度創設している。</p>
事務局からの 発言	<p><事務局></p> <p>事業外の取り組みとしては令和3年5月から市の窓口手数料においてキャッシュレス決済を導入し、令和3年度は1,456件の使用があった。</p> <p>また、令和3年度のふるさと納税は4,635件、約3億7千百万円の納税であり、件数、金額ともに順調に増加している。</p>

